

「農振除外申請は、11月19日までに」

農業振興地域内農用地の除外申請を、11月19日まで受けします。

農用地を、農業以外の目的（農業施設用地も含む）に利用する場合は、必ず農業振興地域の整備に関する法律に基づく除外手続きが必要です。

除外の対象となる農地は、次の4つの要件のすべてを満たす必要があります。

《要件》

- ① 農用地区域外に代替できる土地がないこと。
- ② 農用地の集団化、農作業の効率化、その他、土地の農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないこと。
- ③ 農用地区域内の土地改良施設の有する機能に支障を及ぼす恐れがないこと。
- ④ 国の直轄又は補助による土地改良事業等の施工区域内にある土地については、当該工事が完了した翌年度から起算して（事業完了公告の属する年度の翌年度から）8年を経過していること。

なお、土地改良事業が導入されているかの問い合わせについては、申請地を管轄する土地改良区へ確認してください。

また、今回受け付ける申請は、3月の県土地利用対策連絡会の取り扱い予定となります。

※問い合わせ先

産業振興課農林水産係 ☎82-88255

文芸

俳句

栗江会

梨の実を二千個生らす古木あり
我が戦後今日もつづきし秋の風

桑名 大行

甘すぎる梨は好かぬと飲んべいが
大きさはソフトボールや千葉の梨

長谷川理正

療養の友より絵手紙野分晴

野分雲盆栽培へ屋根の下

今関満喜子

梨剥いて食後の膳の夫婦皿
手捌きの梨交配の遠き日よ

福田 幸子

八十路来て梨食む前歯いつくしむ
裾乱す野分背にして歩きけり

藤代 ゆう

梨をむく指より蜜のひとしづく
木犀や路地の家々香を満たす

玉虫 栗扇

残暑中もはや秋風肌につれ
佛壇へ彼岸の供花の安堵かな

若梅あやめ

余せてふさびしき自由梨をむく
野分雨蝶の濡れ落つ涼

選者 山口 一秋

ひこばえ俳句会（五選句）

晩学の句の道遙か星月夜

浅野 茂子

肌寒き帰る故郷きのこ汁

池田 逸子

合併の上総下総鱈雲

伊藤 敬子

お迎えが来なくて姥の花若荷

川島 孝夫

年古りし千手観音夕紅葉

向後 寛

戸袋の中に棲みつづくツツレサセ

佐瀬 輝夫

良玄寺忠勝墓前枯葉舞

高木 一治

秋耕の土の香匂ふ水田べり

布施 和代

我が庭の柿まだ青く小さくて

若梅あやめ

単線の光るレールや秋微雨

渡部 和秋

短歌

曾孫の生れ会はずとゆく電車

みどり児笑める広告を吊る

吉岡 信子

神の湖摩周とアイヌの崇め来し

湖は真青き水を湛ふる

押尾 輝子

空港の出口に待てる人らみな

ドラマめきたり姑待つわれも

西山満里子

秋酔て更けゆくごとに月の冴へ

競ふがごとく虫の鳴きあつ

萩原 信一

月ごとに友と語れる幸せよ

老いても学べる短歌を知りて

池田 春江

斎場の妻の遺影に語りあつ

共に在りたる楽しき日目を

永藤 滋

うつしよの命終りて帰天せり
母はあふるる愛を残して

田崎 尚美

台風の去りて広がる青空を

ま白き雲の移りゆくなり

秋葉 悦子

夕つ日を見て佇める橋の上

人も来たりて眺めあるなり

越川 教子

山百合が生家の山に咲きあしが

いつしか絶えて見ることもなし

上総 晴子

ひそひそと患者を前にしナース二人

何語りあつ受付窓に

芹川 初子

祖の汗染みたる棚田継ぐもなく

石垣崩れ草の覆へり

佐瀬 初音

夏休みの子等に告げる帰宅時間

吾も仕事の終りとなきむ

宇井 ちい

高齢者に賜ひし金券インフルエンザの

予防接種に取りて置きたり

鈴木 やす

レバー煮る匂ひ厨に漂ひて

臥せぬし犬がむつくと起きぬ

八角 三枝

拭ひゆく夫のみ墓の御影石

濡れつつややに深み増しゆく

選者 斎藤つね子

